

弥彦 パワースポット MAP

霊峰弥彦山、古来から人々の信仰を集めてきた彌彦神社、そして門前町として賑わった弥彦のまち。その地に足を踏み入れたとき、あなたはどんなパワーを感じ取るでしょう。まず心静かに、その美しさと荘厳さを素直に受け入れてみましょう。そこから、パワースポットの旅は始まります。



JR弥彦駅から徒歩20分

湯神社 ゆじんじや

弥彦温泉発祥の地で、弥彦温泉の湯かけまつりにも使用されている有り難いお湯が湧き出ています。温泉の神として崇められるほか、境内の石を借りて病の部分を撫でると治るといふ伝承があります。病気が治ったら、その石を返しにお礼参りをすれば、また新たな力が授かるでしょう。



1 一の鳥居 (いちのとりい)
彌彦神社の入り口に立つ鳥居で、神域の入り口となるシンボルです。高さ約8.4mで稚児柱支え建ての鳥居。地に着かず6cmほどの隙間がある親柱には、ある秘密が?!



2 火の玉石 (ひのたまいし)
地元では「重い軽い石」とも呼ばれ、この石を軽く感じて持ち上げられれば願い事は成就し、重くて持ち上げられなければかなわないと言われ、今も熱心にお祈りする人が後を絶ちません。



3 摂社・末社 (せっしゃまっしゃ)
拝殿に着く前にお参りしたいのが、彌彦神社境内の9つの摂社、末社。摂社とは彌彦神社の神様のご子孫を祀った神社、末社はそれ以外の神様を祀った神社です。

パワースポット4

弥彦温泉街にある末社

※場所は広域MAPをご覧ください。



祓戸神社 はらえどじんじや

昔、弥彦への本街道入り口となっていた場所であり、彌彦神社境内全体を見回して、不浄な物の怪が入るのを防いだり、訪れる人の罪がけられ、過ちを祓い除くと伝えられています。



火宮神社 ひのみやじんじや

弥彦はたびたび大火に見舞われたため、火防の神として迦具都知大神をお祀りしています。火事を防ぎ、鎮火を祈ることで人々の心の安定を求めたといわれます。



住吉神社 すみよしじんじや

突然の水難からの加護を願い、住吉三神が祀られています。この社を覆うように立つ樹齢800年余、高さ30m、幹周り8mの老けやしき大蟻が足を8本広げたような枝振りから「たこけやしき」と名づけられています。



上諏訪神社 かみすわじんじや

武勇にすぐれた神とされる建御名方命をお祀りしています。この地を護り災いを防ぐ神として、また農耕神として信仰を集めました。巨木に囲まれた社で住民からは「上のお諏訪様」と呼ばれています。



下諏訪神社 しもすわじんじや

上諏訪神社と共に建御名方命をお祀りしています。かつて建御名方命が建御雷命と行った力くらべが相撲の起源とされ、8月の相撲節会の際には三役力士の手数入り(土俵入り)奉納が上諏訪神社と隔年で行われています。

弥彦山ロープウェイ山頂駅から徒歩10分

御神廟 ごしんびょう

彌彦神社から約3.5km、越後平野を見渡す弥彦山山頂にある奥の宮。彌彦神社の祭神「天香山命」と妃神「熟穂屋姫命」が仲良くお二人で祀られていて「縁結びの名所」としても知られています。
※恋守は彌彦神社境内の札所でお求めください。



パワースポット2

パワースポット3

POINT

拜殿
拜殿はまさにパワーの源!しっかりと全身で神聖なパワーを感じて、参拝しましょう。神社の一般的なお参りは2礼2拍手1礼ですが、「2礼4拍手1礼」が弥彦流。



POINT

一の鳥居
「鳥居の前でまず一礼!」。鳥居は御神域に入る入り口。パワーを授かりたいなら、礼儀正しく!が基本です。

POINT

参道
参道は「端を歩くべし!」。中央は神様の通り道、参拝者は中央を避けて歩きましょう。

POINT

摂社・末社
摂社・末社参拝でさらに運氣アップ!恋愛や勝負事、試験に「勝つ!」には「勝神社」、仕事運アップには出世の神様「草薙神社」。札所ではそれぞれ独自のお守りも手に入ります。

彌彦神社 やひごしんじや

天照大神の曾孫にあたる「天香山命」を御祭神とする、越後一宮。万葉の昔から「おやひこさま」の愛称でひろく人々の信仰を集め、また神領地として時の朝廷や幕府、武将の手厚い庇護も受けてきました。霊峰弥彦山の麓、樹齢400~500年の杉や檜に囲まれた深い社に佇む彌彦神社は、神々しい魅力に満ちています。



「弥彦パワースポット巡りツアー」ガイド

宝物殿入館料、名物こんにやく付きで「60分・500円」(要予約)
※詳細は裏面をご覧ください。

